

島根県公共事業再評価委員会 質疑応答記録

件名	令和5年度 第2回島根県公共事業再評価委員会 現地調査
開催日	令和5年9月8日(月) 11:00～15:00(移動時間含む)
場所	益田市内～浜田市内 3現場(益田港、益田種三隅線、矢原川ダム)
出席者	<p>●委員 上野和広、坪倉佑太、常國文江、寺田哲志、豊田知世(欠席)、長廻英夫(欠席)、松浦俊彦、三輪淳子(欠席)、吉岡有美(欠席)、今井順一(欠席)</p> <p>●県</p> <p>審議地区① 土木部 港湾空港課 益田県土整備事務所</p> <p>審議地区② 土木部 道路建設課 浜田県土整備事務所</p> <p>審議地区③ 土木部 河川課 浜田河川総合開発事務所</p> <p>・事務局:土木部 技術管理課</p>

質疑応答

◇審議地区① 11:15～11:40

港湾改修事業 益田港 高津地区

1. 現地で資料により事業概要、進捗状況等を説明(益田港にて)

(委員) 現在地はどこでしょうか？

(港湾空港課) (図面から)この辺りです。

(委員) 航路の切換えにより、高津航路は使わなくなりますか？

(港湾空港課) 大塚地区にも物揚場があるので、全く使わなくなることはありません。

(委員) 高津航路は今後手をかけなくて良いのでしょうか？

(港湾空港課) 浚渫を全くしないということではありません。浚渫の頻度が少なくなります。

(委員) 砂が堆積しなくなるということですか？

(港湾空港課) 主に新航路を使用するようになるため、今ほど浚渫しなくてよいということです。

(委員) 分かりました。

(委員) 砂は上流から来ると思われますが、それを改善するための対策はできないのでしょうか。

(益田県土) その対策は難しいです。川の流水に影響を及ぼすため、河川内に構造物は作れません。

(委員) 現在の船溜まりには土砂は溜まらないのでしょうか？

(益田県土) 設計におけるシミュレーションなどでは、溜まらない想定であります。

(委員) 漁業者は減っていますか？

(港湾空港課) 多少は減っていますが、大きくは変わりません。益田港は周辺漁港の拠点港となっており、新しい航路が開通すれば安定航路が確保されるため、JF しまね益田支所によると周辺漁港から利用したいという声が届いているようです。現在は、周辺の漁港に水揚げした魚を益田港に陸送していますが、開通後は漁場から直接海上輸送にて荷揚げしたいとの声もあります。

(委員) 現在の港内に係留している船の半分くらいが新しく整備される係留施設に移動するのでしょうか？

(港湾空港課) 新しい航路上に係留している船舶のみが移動すると想定しているので、一部の船が移動することになります。港内奥側を主に漁船利用、港口の静穏度が悪いところを PB の利用として計画しています。

(委員) 漁船、PB の係船料金は徴収するのでしょうか？

(港湾空港課) 5トン未満の船舶は徴収しません。ただし、漁船については、トン数の制限なく、条例により全て免除であったと思いますので、確認の上、回答させていただきます。

(委員) 本日説明があった資料(現地で掲示した資料)を後ほど提供していただきたい。

(港湾空港課) わかりました。

◇審議地区② 13:00～13:30

防災安全交付金事業 益田種三隅線 西河内工区

1. 現地で資料により事業概要、進捗状況等を説明(改良現場にて)、バス移動車内で状況説明)

《事業概要について》

(委員) 計画当初は全線 2 車線を予定していたが、用地買収が一部困難ということから、1.5 車線改良としたものですか？

(道路建設課) 当初の計画検討段階では 2 車線を検討していましたが、検討段階で用地買収困難箇所が判明したため、1.5 車線計画としています。

(委員) 交通の難所は残りますか？

(道路建設課) 用地取得が可能な範囲での道路計画としているため、交通の難所は残る。

(委員) 事業区間を通る通学生徒はいますか？

(道路建設課) 現時点では通学生徒はいません。ただ、将来的に沿線集落に通学生が出てくるケースを想定しています。

(委員) 歩道の計画はありますか？

(道路建設課) ありませ。歩道の設置は基準で決めており、本区間は交通量も少なく歩道設置基準を満たさないためです。

(委員) 周辺住民は山陰道三隅インターに乗るとき、三隅側と浜田側のどちらからアクセスされますか？

(道路建設課) 三隅インターの三隅側は通勤通学時間に 9 号が混むため、浜田側から山陰道へ乗る車が多いと聞いています。

(委員) 大型車は通りますか？

(道路建設課) H27 センサスによると1日60台程度は通行があります。三隅インター周辺の国道9号が混むため迂回路として本工区を利用する大型車がいると聞いています。

(委員) この現場で使用している重機は環境配慮(低騒音、低振動)車両ですか？

(道路建設課) そうです。(現場に停車してあるバックホウでステッカーを確認)本工事の環境配慮車両(低騒音・低振動)の使用は受注者の判断で使用されています。

(委員) 重機はEV化されていますか？

(道路建設課) おそらくされていません。

◇審議地区③ 13:50～14:20

矢原川ダム建設事業 矢原川ダム

1. 現地で配付資料により事業概要、進捗状況等を説明(矢原川ダム建設予定地下流にて)

(会長) ダムサイトの下方向の地質について問題はありますか？

(河川課) 現在調査・解析中であり、まだはっきりしていません。

(委員) 流水型のダムと聞いているが、下流域の利水の補給はどうされますか？

(河川課) 三隅川については、御部ダムで利水容量を確保しています。矢原川については、これまでも農業用水の取水など支障は生じていません。

(委員) 流水型ダムで建設すると費用は安くなりますか？

(河川課) 貯留型と比べると安くなります。

(会長) S58 災害を契機とし、100年確率で計画されているが、S58 災害の雨に対して余裕はありますか？

(河川課) 余裕は見込んでいます。

(会長) 全国的に毎年計画雨量を超える状況にあるが計画を変更することはありますか？

(河川課) 既往最大降雨を基に計画しており、予測で事業計画の上積みは出来ません。

(会長) 矢原川の流量が少なくありませんか？

(河川課) 今年は県西部の降水量が少なかった。矢原川が枯れたことはありません。

(会長) 第二浜田ダムでは発電設備があるが、矢原川ダムはありませんか？

(河川課) 流水型ダムで、常時は貯水を行わないため発電は出来ません。

(委員) 計画規模の災害が発生した際、ダムが出来て浸水被害が解消される地域の人口と資産額が知りたい。

(河川課) 後日回答します。

(委員) 住家はありますか？

(河川課) 移転対象の住家は5戸あり、非住家を含めると9戸となります。

(委員) 移転は完了していますか？

(河川課) 未移転は貯水池内の非住家1戸のみ。海外在住の事業反対者で現在連絡が取れていません。

(会長) 住民が減っていませんか？

(河川課) 浜田市側では大きくは減っていません。

(委員) 鮎は生息していますか？ダム構造上魚類への影響はありませんか？

(河川課) 三隅川は鮎が生息しているが、矢原川は鮎よりイワナが生息している。矢原川ダムは流水型ダムで計画されており、魚類等の遡上の影響は少ないです。

(会長) ダムの形状が変わることはありますか？

(河川課) 今後の調査・設計の状況により変わることはあります。

(会長) 河川事業は事業期間が長い。矢原川ダム建設事業が長くなった原因は？

(河川課) 主にダムの計画位置が見直しになったことや、ダム検証により事業の必要性の精査があったことが挙げられます。

以下、余白